



Washington Japanese Language School

ワシントン日本語学校

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>

2021年4月17日 発行 第3号

ワシントン日本語学校
校長 神戸 昭夫

[ワシントン日本語学校事務局]
HOT LINE (301)962-7415
TEL (301)962-7410
FAX (301)962-7411



日本語学校初のオンライン 入学式

令和3年度ワシントン日本語学校の入学式が、初めてオンラインにて無事挙行することができました。オンラインとは言え多くの方々のご協力のお陰で挙行できましたことを深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

幼稚部には38名、小学部には65名の子どもたちの入学です。慣れるまで少し大変かもしれませんが、元気に頑張って欲しいと願っています。

当日はお忙しい中、ご来賓として在アメリカ合衆国日本国大使館特命全権公使塚田玉樹様はじめ多くの皆様のご臨席を賜りました。ご祝辞をいただいた塚田様は、以前本校に在籍されたことがありで、「声をかける勇気をもとう。友達は一生の宝物」というお話をいただきました。ありがとうございました。

なお、担任の先生方は以下の通りです。

幼稚部A組 おひさま組 松浦若奈 先生

B組 にじ組 ドゥーリー珠子 先生

小学部1年 A組 田中美紀子 先生

B組 ジョーンズ恵 先生

C組 堤聖子 先生

D組 井上牧子 先生

6名の先生方は私の担任紹介に元気に返事をされ、そのエネルギーは子どもたちにも届いたのではないかと思います。

世界に輸出できる日本の文化

日本の若者が世界で活躍する姿は私たちの喜びです。ゴルフの渋野日向子さんの2019年全英女子オープン初優勝。あの時は彼女の笑顔が話題となりました。テニスでは大坂なおみさんが2018年全米オープン初優勝。この時は試合後、彼女が尊敬している相手選手に深々とお辞儀をし「試合をしてくれてありがとう。」と感謝の気持ちを伝え称賛されました。

そして、2021年4月11日、松山英樹さんのマスターズ初優勝。そのキャディーさんの何気ない行動が「最高の瞬間、信じられない国際的瞬間」などと称賛されました。一人の若者の行動が日本の文化に目を向ける機会を作ってくれました。

何気ない行動とは、帽子をとりコースに向って丁寧にお辞儀をしたことです。海外の目はこの行動に対する称賛だと思いますが、私はこの行動が何気なく出るということ、つまり習慣になっていることにすばらしさを感じます。

はじめはその意図も含め教えられた行動だと思います。それを繰り返すことにより自然に、何気なくできるようになる、習慣となったんだと思います。

命のないものに頭を下げることに理解に苦しむと聞いたことがあります。私は少し剣道をやっていたので道場に入出入りするときはお辞儀をします。「します」というよりも「してしまいます」の方が正しいかもしれません。野球をやる人はグラウンドに、水泳をやる人はプールにお辞儀をします。「練習をさせてくれてありがとう」という気持ちだと思います。そして、お辞儀をすることにより何か気持ちがよくなります。

「世界に輸出できる日本の文化」はまだまだたくさんあります。私も若者に負けないように実践していきたいと思っています。